



越中福岡 の 菅笠製作技術 保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2018年7月 No.26

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12
高岡市役所福岡庁舎 地域振興課内
TEL.0766-64-1422 FAX.0766-64-5344

<http://sugegasa.web.fc2.com>



「笠骨づくり研修」修了証授与

5月17日(木)理事会において、菅笠製作技術後継者育成事業の「笠骨づくり」を、平成30年3月31日をもって修了した中山孝志さんに、修了証が授与されました。新しい菅笠「菅笠マカロン」のスタイリッシュな笠骨などを手掛ける中山さん。今後の活躍にも期待が高まります！

「笠骨づくり」職人育成

「菅笠製作技術後継者審査委員会」

3月20日(火)福岡庁舎3階大会議室で、平成29年度菅笠製作技術後継者審査委員会が開かれ、互選により委員長に富山大学芸術文化学部講師の安嶋是晴さん、副委員長に笠骨づくり育成者の中嶋尋之さんが就任されました。



中嶋尋之さん工房(左から 税光さん、中嶋先生、中山さん)

「笠骨づくり継承者」第2期生の中山孝志さん・税光美佐子さんと、第3期生に募集した坂林泰子さんの面接と審査を審議し、税光さんは継続、坂林さんを継承者として選定しました。



中山さん

中山さんは審査会で、研修を修了しても問題ないと審議され、ご本人の希望も踏まえて、城山会長と協議した結果、平成29年度(H30.3.31)で修了することになりました。

坂林さんは、「技術の一つ一つ身につけ、いくつ作っても綺麗に仕上がる様になりたい」と意欲的。今後は、中嶋先生宅で計画的にマンツーマン方式の笠骨づくりを学びます。



▲審査委員会の様子。
◀「笠骨づくり継承者」第3期生の坂林さんと中嶋先生。

“菅笠マカロン”に決定！(応募総数49点、募集期間1/24～2/28)



山本さんとお子様

菅笠マカロンのポイントも
①竹の笠骨が細く、軽くてスッキリ。
②帽子型で五徳いらず。
③カラフル！菅の染色が可能になりました。

ブランド化小委員会で開発した「新しい菅笠」の名称を募集しました。自然や色、福岡町に関連する名称の応募が多く寄せられる中、山本尚子さん(砺波市)の“菅笠マカロン”(応募由来/色がきれいで形も可愛く、大好きなマカロンに見えた)に決定しました！選定ポイントは、菅笠の形がお菓子のマカロンに似ていること、菅の染色が鮮やかであり、カラフルな色が特徴であるマカロンとも相性が良いこと、多くの方にも馴染みのある名称であることです。

3月29日(木)に、福岡庁舎一階ロビーで、城山会長から名称を提案した山本さんに、記念品を贈呈しました。

“菅笠マカロン”は、越中福岡の菅笠振興会が年内の商品化を目指しています。



長寿社会づくりソフト事業「平成29年度 菅笠づくり後継者育成講座」



笠骨づくりコース…菅笠づくりに興味を持った方が多く見学に訪れました。中嶋先生のご厚意で、一文字笠の笠骨づくりの体験をされた見学者もいました。



笠縫いコース…土・日コースは受講者24名で大所帯！菅選りをする場所を確保するのも一苦労。
★宮崎光子さんと松平カズミさんに、臨時講師として協力頂きました。ありがとうございました。

平成29年6月～平成30年3月の10カ月間、福岡庁舎2階和室・1階ロビーで、菅笠づくりの笠骨づくりと笠縫い講座を行いました。

笠骨づくり講座は、月1回（計10回 1回3時間）、講師の中嶋尋之さんと北守栄一さんが、受講者9名（午前コース5名・午後コース4名）に、角笠・富士笠・浅山笠・一文字笠の笠骨づくりを指導しました。

笠縫い講座は、月2回（計20回 1回5時間）、木・金コース講師の城山ミキさん・越後喜代さんが、受講者12名に、土・日コース講師の橋本レイ子さん・山本百合子さんが、受講者24名に、富士笠・角笠・大野笠・一文字笠・ヘルメット笠・正月飾り笠の笠縫いを指導しました。



笠縫い講座の受講3年目、4年目の受講者は修了となりました。講座では受講できなかった、特殊笠などの製作技術指導をご希望の修了生の方に、マンツーマン指導をご紹介します。ご連絡お待ちしております。(64-1422)

総会の展示や菅笠展覧会用に、ご提出して頂いた「笠骨・菅笠」を返却いたします。まだ、引き取りにいられていない受講者の方は、福岡庁舎2階 越中福岡の菅笠製作技術保存会までお越し下さい。返却期間を7月末までから、8月末までに変更いたします。

マンツーマン指導

平成29年度は、2人の方が講師の松平カズミさんから、マンツーマン指導の「笠縫い」を学びました。

坂林泰子さんは、平成29年度後継者育成講座「笠骨づくり」にも参加しており、自作の富士笠の笠骨で笠縫いを学びました。平成30年度は、笠骨づくりの後継者として、講師の中嶋尋之さん宅でマンツーマン指導を受け、伝統工芸士を目指しています。

幼少の頃、祖母の笠縫いを見ていたという秋元和子さんは、洋裁が得意で手先が器用。笠縫いの後継者として適任です。富士笠の他に、大菅商店さん依頼のシカケが美しい



秋元さん(右)

「野菜カゴ」づくりの後継者として、松平さんからコツを伝授されました。



坂林さん(右)

イベントに参加、笠縫い実演・体験

「ふくおかひなまつり エコまちイベント」

2月25日(日)第9回 ふくおかひなまつり(2/24(土)～3/4(日))のエコまちイベント「ひなまつりイベント」



として、さんちよんぴん蔵にて、笠縫い実演を城山ミキさんと越後喜代さんが行いました。おひなさまづくり体験指導を

菅っこメイトの大道悦子さんと大野弘子さんが行い、7名がエコ雛づくりを体験しました。

来場者は、手際よく縫い上げる笠縫い職人を見て感動していました。





多言語対応パンフレット

日本を訪れる外国人の方などを対象とした、越中福岡の菅笠製作技術のパンフレットの最新版が出来ました！英語・中国語・日本語に対応しています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人旅行者が増えています。菅笠の魅力をより多くの方に知ってもらうために活用していきます。

パンフレットをご希望の方はご連絡下さい (64-1422)

平成30年度 総会

5月28日(月)福岡庁舎3階大会議室で、平成30年度「越中福岡の菅笠製作技術保存会」総会が行われました。

城山孝会長から、「菅笠の発展の為に、地域の皆さんと一体となって進めていきたい。菅笠が国の伝統的工芸品に指定された。職人、研修生の中から伝統工芸士が生まれることを確信している。」と思いを伝えました。



今年度は、高岡市と協力して「菅笠製作技術の後継者育成講座」を実施し、ホームページなどを活用して、全国に菅笠の魅力を発信していきます。

菅笠ブランド化事業及び新商品開発等については、平成30年度より越中福岡の菅笠振興会に移管が承認されました。

ホームページ開設！

<http://sugegasa.web.fc2.com>



5月11日(金)に、越中福岡の菅笠製作技術保存会オフィシャルホームページを開設したにゃん！！越中福岡の菅笠の歴史や種類、菅笠ができるまで、後継者育成、かさぼんこのページなど、楽しい情報が



いっぱいだにゃん！

皆、遊びにきてにゃ〜ん♪



後継者育成講座で研修生が製作した笠骨と菅笠を展示しました。

《理事会開催日》

- ・1/10(水) H29 第2回理事会(福岡庁舎)
- ・5/17(木) H30 第1回理事会(福岡庁舎)

取材協力 ありがとうございます！

- ◆チューリップテレビ「ニュース6」1月24日(水)放送
 - ・菅笠づくり…中山孝志さん実演(福岡庁舎2階和室ほか)
- ◆BBT「元気とやま みんなのクイズ」3月17日(土)放送
 - ・笠縫い…松平カツミさん・梶浦フミ子さんが実演(福岡庁舎1階ロビー)
 - ・笠骨づくり…中嶋さん実演(中嶋尋之さん工房)
- ◆BBT 3月9日撮影
 - ・笠縫い…橋本レイ子さん・松平カツミさん実演(福岡庁舎1階ロビー)

★取材に協力してくださいました皆様に感謝いたします。これからもよろしくお願いたします。



平成30年度「菅笠づくり後継者育成講座」が始まりました！

福岡庁舎2階和室で、国の重要無形民俗文化財である菅笠製作技術を習得する「平成30年度 菅笠づくり後継者育成講座」が始まりました。今年度は高岡市主催で、6月から翌年3月まで実施します。



笠骨づくりコース…笠の大きさ決める外輪骨(がわぼね)を削ります。両端を斜めに削り、くぼみを付けて重ね合わせると引っかかるようにします。(6/20)

「笠骨づくり講座」は、月2回(計20回 1回3時間)行い、講師の中嶋尋之さんと北守栄一さんが、基礎から丁寧に、竹を割って削る指導をします。4名の受講者(初受講1名、2年目1名、3年目2名)が、角笠や富士笠などの笠骨づくりを学んでいます。

「笠縫い講座」は、月2回(計20回 1回5時間)行い、講師の橋本レイ子さんと松平カツミさんが、菅を選び分け、一つの笠を縫い上げるまでを丁寧に指導します。16名の受講者(初受講6名、2年目4名、3年目6名)が、角笠や富士笠、一文字笠などの笠縫いを学んでいます。

見学をご希望の場合は、事務局(64-1422)までご連絡ください♪



笠縫いコース…前もって濡らし柔らかくしておいた菅を使って、菅の選別から(菅選り)からはじめます。(6/21)



講師の北守栄一さん(写真左)が、小輪骨(こわぼね)を笠骨の中央に取り付ける時の注意点を指導。(6/20)



講師の橋本レイ子さん(写真中央)が、受講初年度の受講生に、長い笠針の使い方を指導。指ハメを上手く使って、笠を縫っていきます。(6/22)



菅田面積調査

6月12日(火)と15日(金)に、城山孝会長・越中福岡スゲ生産組合の村本孝義会長・保存会事務局の総勢6名で、平成30年度菅田面積調査(高岡市主催)を行いました。

初めて調査に参加した事務局員は、山奥に菅田があるとは思わなかった…と驚いていました。菅田は昔から水稲の不適地に栽培されており、雪解け水などが絶え間なく流れる、湿潤で肥沃な土壤が適しており、山奥でも栽培されます。



腰のあたりまで成長した菅は、この夏に人の背丈程になります。7月下旬頃から刈り取りが始まります。



福岡小学校の菅田は、7月31日(水)に、5年生児童が刈り取り作業を行います。刈り取り後は、菅支援グループ SUGET が天日干しなどを行います。

年々、菅田面積が減少していますが、昨年の秋に中山孝志さんが奥様と植えた菅が成長し、この夏に初の刈り取りとなります。

菅栽培に興味がある方、大募集です！是非、事務局までご連絡ください(64-1422)。

菅刈りは、
菅笠被って
頑張るにゃん！

